

# 平成23年度予算が可決

北九州  
市議  
会  
員

無我夢中  
大久保むが  
市政レポート  
No.10

平成23年度予算が6月議会（6月1日～28日）で可決されました。本来であれば予算の審議は2月～3月にかけて行われるのですが、本年2月に行われた北九州市長選挙の関係で3月に暫定予算が編成されました。この6月に本格的な予算編成となりました。

平成23年度予算は、2月に再選を果たした北橋市長が2期目になって最初の予算となり、これまで4年間に取組まれてきた「元気発信！北九州」プランを推進する上で注目される予算となりました。今年度は、環境とアジアをキーワードにした「環境未来都市・国際戦略総合特区推進事業」をはじめ、エネルギーの効率的な利用を行うための省エネシステム、北九州スマートコミュニティ創造事業など、次世代の都市の基幹となる事業が推進されます。

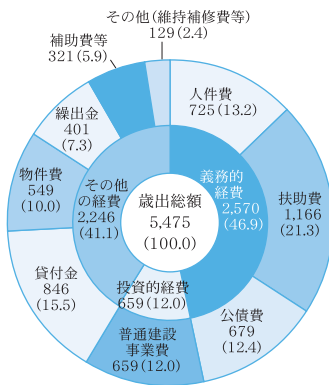
こうしたことから、一般会計547.4億円（+27%）に普通特別会計と企業会計を合わせた予算総額は、合計1兆158億円（+1.9%）となり、財政の厳しいながらも前年を上回る予算となりました。

※（ ）内は対前年比

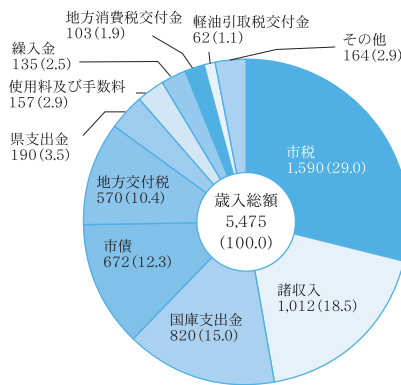
	平成23年度予算 単位(百万円)	伸率(%)
一般会計	547,454	2.7
普通特別会計	490,984	0.6
企業会計	120,262	3.5
合計	1,158,700	1.9

市税収入は1590億円（+5億円）となりました。法人市民税が対前年比+11億円と伸びる見込みに対し、個人市民税は-16億円

## 市税収入



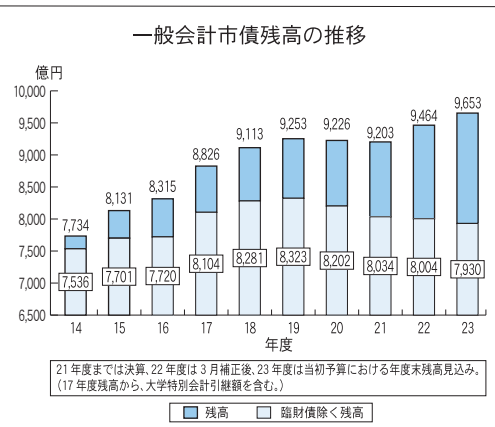
## 【歳出・性質別】



## 【歳入】



大久保むが市政相談所  
〒807-0831  
北九州市八幡西区則松2-9-2  
TEL:093-863-5530 FAX:093-863-5531



市債残高は平成23年度末で約9653億円となり、市債総額を見る限り借金への依存度が増えています。今年度の市債発行残高は672億円（+134億円）と大きく増加しています。この増加分の要因として、臨時財政対策債（80億円）が挙げられます。市債残高は平成23年度末で約9653億円となり、市債総額を見る限り借金への依存度が増えています。

**地方債と市債残高**  
今年度の市債発行残高は672億円（+134億円）と大きく増加しています。この増加分の要因として、臨時財政対策債（80億円）が挙げられます。市債残高は平成23年度末で約9653億円となり、市債総額を見る限り借金への依存度が増えています。

**地方交付税（地方交付税+臨時財政対策債）**  
地方交付税と臨時財政対策債を合わせた総額は860億円（+30億円）となりました。このうち地方交付税は570億円（-50億円）、臨時財政対策債は290億円（+80億円）となっています。

と大幅な落ち込みが見込まれており、依然として自主財源の弱さが現れた格好となりました。

個人市民税の減少 -16億円  
法人市民税の増加 +11億円  
固定資産税の増加 +4億円  
環境未来税の増加 +4億円

**※臨時財政対策債について**  
臨時財債とは、国の地方財政対策により平成13年から導入。地方財政不足分を地方公共団体が自ら借入を行うことで、所要の財源を確保しようとしたもの。この地方債の元利償還については後年度の償還時に全額が交付税措置されることになっている。

臨時財政対策債（臨時財債）で借りている借金は、簡単に言えば、後に国が返してくれるという約束のうえで借りている借金です。市当局の予算概略説明では、市債9653億円のうち、国が後で交付税措置をしてくれる臨時財債を差し引いた本市の純市債残高は7930億円となり、これ自体は平成19年の8323億円をピークに減少し続けている、となっています。たしかに本市が抱えている市債（借金）は減少しているのですが、代わりにこの国が肩代わりしてくれる予定の臨時財債は増加し続けているという事になります。

しかし、現在の国の財政状況、景気動向などを考えると、後年この借金を国が本当に払うことができるのか、また、地方交付税を減額してこの償還にあてておけないかという心配があります。

地方債、臨時財債など、市が返すとか国が返すとか一見他人事のような見方をしていますが、結局のところその借金を返していかなければならないのは、私たち市民であり国民一人ひとりです。社会保障や基幹インフラなど、将来にわたって必要で、みんなが負担しなければならぬものも勿論ありますが、これまで以上に不要不急の事業を見直し、将来に不安を残さない財政を確立する取り組みを求めていると思います。

**〈臨時財政対策債について考える〉**  
臨時財政対策債（臨時財債）で借りている借金は、簡単に言えば、後に国が返してくれるという約束のうえで借りている借金です。市当局の予算概略説明では、市債9653億円のうち、国が後で交付税措置をしてくれる臨時財債を差し引いた本市の純市債残高は7930億円となり、これ自体は平成19年の8323億円をピークに減少し続けている、となっています。たしかに本市が抱えている市債（借金）は減少しているのですが、代わりにこの国が肩代わりしてくれる予定の臨時財債は増加し続けているという事になります。

# 市長質疑にのぞむ

6月議会 私は総務・財政・市民文化スポーツ、消防、建築都市などが所管されている予算特別委員会第一分科会の所属となっております。  
市長質疑は本会議とは別に、委員会において市長に直接質問ができる貴重な機会です。分科会において今回は2点質問致しました。



## 北九州市省CO<sub>2</sub>住宅普及促進事業



北九州市省CO<sub>2</sub>住宅普及促進事業は「全市的に住宅の省エネ性能の底上げを図るため、エコ住宅の新築やエコリフォームに対する助成制度を新設する」ものです。

市民による省エネ型の住宅リフォームを積極的に支援することは、本市が環境モデル都市・低炭素型社会づくりをめざすために大変意義ある取り組みであると同時に、地元事業者の受注増が期待されるなど、本市経済の活性化にも寄与する制度となるものと期待しております。  
そこでおたずねします。

まずこの制度実施で期待される効果、制度の特徴について、ご見解は？  
次に、この制度で考えられている補助対象工事はどのようなものか？  
また省エネにつながる工事については、ヒートポンプの設置など付帯的な省エネ設備の設置なども対象とし、実効性があり幅広く使いやすい制度にすべきだと考えますが、ご見解を伺います。

さらに、昨年度からスタートしている札幌市の「環境負荷の低減等のための住宅リフォームの促進条例」では、基準工事の10%補助とし、予算額150万円であったため、わずか10

日あまりで限度いっぱいとなり、募集が打ち切りとなったと聞いています。

実効性があり、市民が使いやすい制度とするためには、補助率・限度額や予算総額のあり方についても、インセンティブが効果的に働くより良い制度とする必要があると考えますが、ご見解をお伺いします。

北九州市の省CO<sub>2</sub>住宅促進事業は、住宅の窓や壁、屋根などの断熱性能を高める工事に助成する点では国の住宅エコポイント制度と同様ですが、本市独自の優遇策としては、これらの工事に加えて行うコ・ジェネやポンプによる効率の高い給湯器や、燃料電池システム、LED照明など、省エネ設備工事も補助対象としてCO<sub>2</sub>削減を強力に推進するものであります。

一般的に、断熱工事に加え、こうした省エネ設備を導入しますと従前の住宅に加えて20%以上のCO<sub>2</sub>削減が期待できるとされています。

本市は環境モデル都市として、2030年代までに2005年度と比べて家庭部門からの排出量を35%削減という目標を掲げております。この事業によって、全市的に住宅の省CO<sub>2</sub>化が促進されますと、この目標達成に大き

く寄与することになります。  
またリフォームの工事はほとんどが地元中小建設業者などが施工することとなりますので、本市経済に果たす効果も大きいと考えております。

23年度はこの事業の創設年度として、エコリフォームと共同住宅のエコ新築も併せて700戸の申請を見込み、予算額は債務負担行為も併せて1億4000万円を計上しております。

さらに募集時期を数機に分けるなど工夫をあわせると、募集開始後早々に予算が尽きることはないと考えております。また市民が使いやすい制度となるよう、国のエコポイントと同様、断熱工事や高効率給湯器の設置など、工事ごとに補助額をポイント数として表すなどの工夫をして参りたいと考えております。

## コミュニティサイクル事業について



平成21年からスタートしたコミュニティサイクル事業は、平成21年9月の決算議会において、私からの質疑に対し、同年8月時点での会員登録数は小倉北区と八幡東区東田で法人会員が12件、個人会員が150件とのことでした。

また、同じく1日あたりの利用台数が20台だったものが、その年の7月には1日あたり40台にまで増加している、とありました。

しかし建築都市局から頂いた最新の利用状況のデータによりますと、平成23年3月末の時点では法人14件、個人会員196件という状況であるとのことでした。また、小倉北区と八幡

東区東田地区の1日あたりの利用台数は28台とのことでした。

また「会員数が少ないのでは」という問いに対し、市長は、「ステーションの増設は、利用者の増加につながる一つの手法であると考えているが、この事業は始まってまだ半年しかたっていない」と答弁をされました。

その後、自転車専用道路は若干の進展があったようですが、ステーションの数はいまだに変わっておりません。

そこでお伺い致します。  
現状を見る限り、会員数、利用台数などはとても満足の数だとは思えませんが、利用者数などが思うほど増えていない状況をどのように分析しているのでしょうか？  
また、この1年半あまりの間に、どのように利用者増のための改善を検討されてこられたのか。  
市長の見解を求めます。

自転車は環境にやさしく、手軽で便利な交通手段であります。環境未来都市を目指す本市としまして、走行空間の整備をはじめ、その利用促進を図っているところでありまして、コミュニティサイクルの利用促進については、昨年9月にご質問頂いてからこれまでに、市職員による公務での利用や、法人会員の勧誘、JR小倉駅観光案内所やホテルなどでのチラシによるPR、昨年11月モノレール祭りでの無料試乗会の開催などの取組を行ってきました。その結

果、昨年同時期と比較しますと本年5月末現在では小倉都心地区と東田地区合わせて法人会員が1社から14社へ、個人会員が101名から205名へと増加しております。

月当たりの利用台数でも4月が532台から731台に、5月が669台から931台へと着実に増加しつつあります。しかしながら収入面で見ると、事業を運営しているNPOの採算ラインにはいまだ届いておりません。このようなか、今年の2月利用者を対象にアンケート調査を行い、ステーションの設置場所や数、利用料金に対して不満が多く、利用促進を図る上で重要な事項であることがわかりました。

このため、料金体系の見直しについて現在、NPO法人と協議をすすめているところです。

まずは、一定期間料金を安く設定する、「利用促進キャンペーン」を早期に実施する予定としております。一方ステーションの増設については、設置場所の確保や、その借地料や機械設備に1か所あたり100万円の費用がかかるという課題もありません。さらに検討を行っていく必要があると考えております。今後ともより使い勝手のいいコミュニティサイクルとなるようNPO法人とともに取り組んでまいります。

## 2回目の質問・要望

以前も、ステーションの数と利用者の数は比例する、という趣旨の質問を行いました。予算の制約や設置場所の条件などがあるとは思いますが

が、やはり、ステーションの数はこの  
コミュニケーション事業が成功す  
るか否かにおいての大きな要素であ  
ると考えます。

また利用目的も通勤や業務、観光  
が目的とされているということだっ  
たが、利用目的もどのような人たち  
に利用してもらいたいのか、しつかり

## 視察報告

渡辺通優良運転者免許更新  
センター（ゴールド免許センター）



福岡市にある「渡辺通優良運転者  
免許更新センター」（ゴールド免許セ  
ンター）の視察に行ってきました。

このセンターは優良運転者と高齢  
者が対象で、主にゴールド免許所持  
者の優遇政策として福岡市の天神に  
設置されています。

福岡県全体の免許の更新は年間約  
77万件ほどあるとのこと、昨年は  
このゴールド免許センターへ約9万  
300人が訪れたとのこと。

設置当初、約200人程度だった一日  
の利用見込みが、現在では認知度と  
利用者が増加し、毎日約300〜400人の  
利用があり、当初の施設からでは手  
狭になっているとのことでした。

この施設の設置には他の免許セン  
ターから機材をやり  
くりするなどして、  
可能な限り新たな費  
用が増えないように  
努力をしているよう  
でした。



絞っていったほうがいいと思いま  
す。それによって例えばステーショ  
ンの設置場所も変わってくるのだらう  
し、自転車道の整備にも影響を与え  
てくると考えます。その点を踏まえ  
て事業をすすめていただきたいと思  
います。以上要望いたします。

職員は全部で8名、講習室は3つ  
あり、概ね30人をひとつの単位にし  
て行われます。



先述しましたが、  
このゴールド免許セ  
ンターは、優良運転  
者の優遇措置が目的  
で平成21年10月に設  
置をされたとのこと  
です。確かに福岡に住んでいる優良  
運転者には大変利便性の高い場所に  
あり、さらに短時間で免許の更新が  
可能なことから、ゴールド免許所持  
者にとっては大変メリットがありま  
す。

しかし、北九州市から福岡市まで  
は距離が45km〜60kmほど離れてお  
り、全体利用者9万3千人のうち、  
本市からこの天神のゴールド免許セ  
ンターへ更新に行った数はかなり少  
ないとのこと、本市のゴールド免  
許所持者にもより近い場所にこうし  
た施設が設置されることが望まれる  
ことから、誘致の可能性についても  
各方面に働きかけていきたいと思  
います。

宮崎県川南町  
「トロントン軽トラ市」



宮崎県の海側の真ん中あたりに  
位置している川南町を含むこの地区  
は、近年口蹄疫や新燃岳などの自然  
災害などに大きな影響を受けまし  
た。その中で、川南町は全国的にも有  
名なイベ  
ントが月  
に一度行  
われてい  
ます。「ト  
ロントロ  
ン軽トラ  
市」と言  
われる軽  
トラ市が  
それです。



### 3時間の市に2万人

5月21日、市の前日に北九州市か  
ら車で約4時間半かけて、宮崎へと  
向かいました。翌朝8時から、川南  
町の商店街が会場となり軽トラ市が  
スタートします。

朝8時、市が開かれる会場の商店  
街には既に凄じ数の買い物客が商店  
街に流れ込んでいきます。

市には宮崎  
県内各地から  
140台もの軽ト  
ラックが集結  
し、地元の野  
菜、魚、果物  
だけでなく名  
物の地鶏、地  
元のお茶、ス



イーツなどに  
加え、川南町  
の商店街も店  
を開きます。

毎月第四日  
曜日に行われ  
るこの市は、  
朝8時〜11時  
までの3時間  
までわずか3  
時間開かれるのですが、多い時には  
この3時間のために2万人もの来場  
者があるとのこと。



この盛り上がりを受けて出店希望  
者も増え、また毎月の軽トラ市を乗  
しみにしているリピーターのお客さん  
も増えてきているとのことでした。

実際、私が視察を行った際にもテ  
レビ局の取材が来ていたり、雑誌な  
ども頻繁に取り上げられていること  
で、前日からの宿泊など一定の経済  
効果が認められるとの事でした。

こうした取り組みが成功するまで  
は、やはり道路使用の問題だとか、  
出店者の確保、口蹄疫や新燃岳など  
の自然災害など数々の障害にぶつか  
りながらも、粘り強くイベントを続  
けてきたこと  
で成功につな  
がった、と商  
工会の方もお  
っしゃっていま  
した。



### 商店街の本当の姿

インタビューの終わりに、前出の  
商工会の方から、「軽トラ市が終わっ  
た後の商店街も見ていくといいよ」

と言われ、片づけが終わる11時過ぎ  
までその場で滞在することに。軽ト  
ラ市の途中の賑わいと、終わった後  
のギャップというか、その前後の商  
店街が全く違う様相を見せたことに  
驚かざるにはいられませんでした。

これだけの規  
模のイベントが  
終わったあとの  
商店街は人影も  
なく、他の地方  
商店街と変わら  
ないものになっ  
ていました。



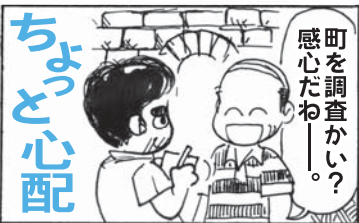
前回視察に伺  
った、香川県高松市の丸亀商店街の  
取組みにみられるように、日常の買  
い物を行うお客さんの確保を行わな  
ければ、いくら祭りやイベントを行  
ったところで、それらの  
効果は限定的  
なものである  
ということだ  
す。



住民が増え  
る↓住民が日  
常的な買い物  
を商店街で行  
う↓店が増える↓外からも人が来る  
というサイクルが理想的であり、基  
本であると思います。またこうした  
イベントをそのまま本市でも行うと  
いうのではなく、その町その地域の  
特性にあったものを行い、それと併  
せて、コンパクトシティ化など、都  
市の市街地などまちづくり自体の構  
造を考えることが重要であることを  
改めて考えさせられました。

キタQに  
無我  
夢中!!

No.10  
クールビズの巻



活動開始!

# あがまち点検隊

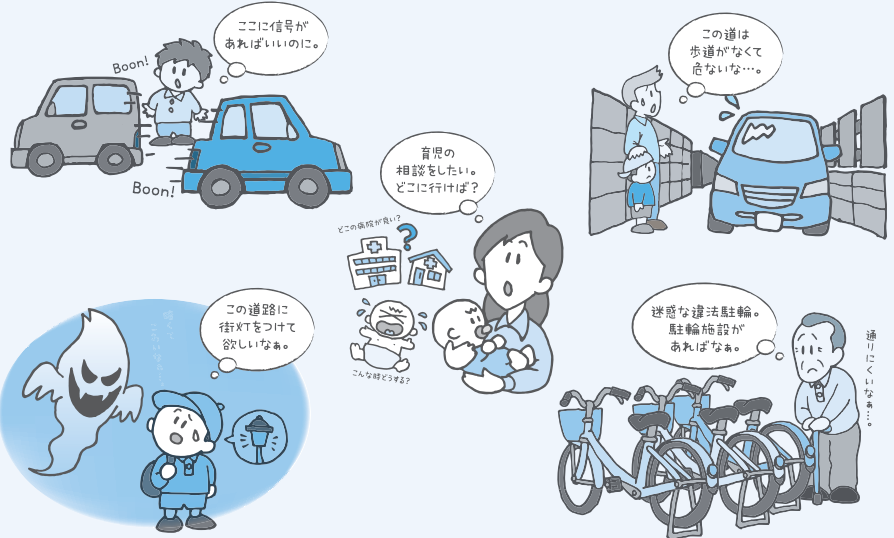


あなたのまちの困ったことや、なぜだろう?と思うこと。  
お気軽にお知らせください。

日頃の生活の中で、「困ったこと」「なぜだろう」と思う事など、市に対してどこに相談したらいいの  
だろう、というお問い合わせが多くあります。

また、地域の中で市民の皆様が目が届いているが、市からの目が届きにくいところでの改善点など  
がありましたら、お気軽にお知らせしてもらおう取組をスタートさせました。

皆様と一緒に調査していこうと思っております。また、行政に対してのご意見やアイデアなどもご  
ざいましたら一緒に承ります。EメールやFAXなどお気軽にお知らせください。



ご意見・ご質問は、FAX 又は Eメールでお願いいたします。

(FAX 093-863-5531 yahatanishi@mugamuga.net)

お名前、ご連絡先・ご住所をご記入ください。

※頂いた個人情報は慎重に取り扱い、個人情報プライバシーに関わる重要な情報であると認識したうえで、個人情報を適切に保護します。  
※行政に関わるお問い合わせ以外の内容の場合は、お受けいたしかねる場合がありますので、ご了承ください。  
※全てのご相談を解決できるとは限りませんが、まずは状況をお知らせください。

平成23年

## 4・5・6月の活動記録

### ●4月

- 1日 福岡県議会議員選挙告示日
- 2日 地域団体とウォーキング
- 3日 地域の皆さんと花見
- 5日 北九州市立大学入学式
- 10日 福岡県議会議員選挙投票日  
町内会会議
- 12日 八幡西区親子ふれあいの一む開所式  
市議会会派団会議
- 16日 ラブリバー撥川定期総会  
和歌山へ出張 ~
- 18日 市議会会派政策審議会会議
- 20日 市議会会派団会議  
園庭芝生化勉強会
- 22日 北九州市住居表示委員会  
北九州市立大学政策研究所研究報告会
- 24日 北九州市立若松球場開場式
- 25日 会派スタジアム建設検討会  
八幡西消防団第3分団訓練視察
- 26日 市長へ予算要望  
八幡西区議員懇談会
- 29日 メーター

### ●5月

- 2~6日 岩手県釜石市へ出張
- 7日 レディーススポーツフェスティバル  
開会式
- 10日 市議会会派団会議
- 13日 福岡県ゴールド免許センター視察
- 14日 地域まちづくり協議会会議
- 16日 総務財政委員会
- 19日 国際車椅子バスケットボール  
実行委員会視察
- 21~22日 宮崎県川南町トロン軽トラ市視察
- 23日 市議会会派団会議
- 26日 八幡西区築地工業団地組合総会にて講演  
6月議会勉強会
- 27日 6月議会勉強会
- 28日 視覚障がい者支援団体総会
- 30日 民主党福岡9区総支部常任幹事会

### ●6月

- 1日 6月議会 開会 本会議  
会派勉強会
- 2日 会派勉強会
- 3日 福岡県議会議員岩元かずよし県政報告会
- 4日 田植え研修
- 6日 高齢者健康遊具視察

- 7日 J2ギラヴァンツ北九州と意見交換
- 8日 6月議会 本会議
- 9日 6月議会 本会議
- 10日 6月議会 本会議  
6月議会 予算特別委員会
- 12日 ギラヴァンツ対サガン鳥栖 観戦  
八幡西消防団第3分団結団式
- 13日 6月議会 本会議
- 14日 6月議会 本会議
- 15日 6月議会 予算特別委員会
- 16日 6月議会 予算特別委員会
- 18日 地域グラウンドゴルフ大会
- 19日 折尾地区自治会連合会ポーリング大会  
北九州市民茶会  
民主党福岡9区常任幹事会
- 20日 6月議会 予算特別委員会
- 21日 6月議会 予算特別委員会市長質疑
- 23日 西日本総合機械展開会式
- 24日 総務財政委員会  
八幡西区議員協議会  
北九州市の農林を考える会
- 25日 国政・県政・市政報告会
- 26日 東京へ出張
- 27日 6月議会 予算特別委員会
- 28日 6月議会最終日 本会議